

# 令和元年度 愛心保育園 事業実績報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

## 事業の総括

はじめに、令和元年度の新しい年号を年度途中ではありますが、5月には希望に燃えて迎えることができましたこと、たいへん喜ばしく幸せに思っております。そのような中で今、振り返ってみますと、この4月で創立38周年を迎えて歴史の積み重ねの尊さを楽しみ感じているところです。これからも初心を忘れることなく、厳しい保育界の時代の変化に即対応できるよう、保育界の動向を見極めつつ、常に意識改革を念頭において日々、誠心誠意取り組んでまいりたいと考えております。また、当法人は時代の大きな変革の中にあっても、決して押し流されることのないようにこれからも揺るぎない信念をもって取り組んでまいります。また、保育の資質向上を図るうえでは、職員一丸となって園内外研修等についても精一杯の努力を注いできており、その他、特別保育事業である延長保育や地域活動事業等の運営にあたっては、保護者からのご要望にお応えしての事業を展開する等、熱い信頼を得ることができたと同時に、子ども達の心に寄り添いながら令和元年度も充実した内容ですべての事業に取り組むことができました。

ところで、いつも（愛心、第2、仲井真こども園）3ヶ所の園がひとつの法人として心がけていますことは、時代の流れに沿って保育制度の行方も見据えながら、地域の子育てセンターとして子どもの視点に立ち、更に全国の保育園に先駆けて取り組んでいる思いやり保育の実践認定園として誇りを持ちながら「手伝う行動・励ます言葉・ありがとうの心」を展開し、こども園とご家族が三位一体となり同じ子育て目標を共有しつつ、温もりのある保育実践を行っているところです。これからも愛する子ども達の大切な命と可能性を育むために、当法人の教育・保育理念である「保育は愛なり・愛は力なり～入所するすべての乳幼児の最善の利益を図り、個としての人権、人格を尊重する」という尊い思いを理念として掲げて取り組んでまいります。更に、教育・保育目標には「元気で明るい子ども」「思いやりの深い子ども」「個性豊かで自分らしく生きる子ども」「自分で考え、意欲的に行動する子ども」など、明るく元気で瞳輝く子どもの成長を目指し、本年度も取り組んでまいりました。

また、当園の特色である音体教育、お習字教育、漢字遊び、英語で楽しく遊ぼう等を創立以来37年間継続し実践してきており、その結果「しなやかでたくましく元気で明るい子どもの育ち」に大きく寄与できていることも嬉しく思っております。このように創立以来、全職員が心をつなげて今日まで取り組み、37年の尊い歴史を刻んでまいりましたが、職員の子ども達に寄せる対応等も愛情が惜しみなく注がれ、力強い中にも柔軟

性に富み、その成果は着実に実を結んでおります。その事は子ども達の日々の保育活動にもしっかりと現れており、活気と喜びに満ち溢れています。また、安全管理及び環境整備、食育への取り組み、職員の処遇改善、更に資質向上に向けたキャリアパスを含めチューター制度など職員が働きやすい職場を目指して取り組み、事業計画どおりスムーズに進められましたことを、ご報告申し上げることに喜びと幸せを感じており、感謝の気持ちで受け止めております。

尚、令和元年度も例年通り保育園独自で、保護者アンケートを年2回実施致しました。その結果についても、保育方針や園長、職員の保護者に対する対応等、多くの保護者様にご満足いただいていることを確認することができました。それは職員の日々の努力が報われていることを素直に心に受け止め、全職員幸せをかみしめながら、次年度に向けた大きな励みとなっております。

そして職員一同、これからも尊い児童福祉の心をしっかりもって、子ども達の心に寄り添い、保護者の子育て支援についても更に信頼と安心感を寄せてもらえるよう、尚一層力を注いでまいりたいと熱い思いを寄せております。

それが地域に根ざした児童福祉施設としての当法人の大切なお役目であることをしっかりと心に受け止め、私共の使命として肝に銘じながら、願いを込めて令和元年度の事業実績報告とさせていただきます。

## 令和元年度 第2 愛心保育園事業実績報告

自 平成31年4月 1日

至 令和2年3月31日

### 事業の総括

令和元年度も玉重福社会の基本理念である「思いやり保育」～手伝う・励ます・ありがとう～の心を基本に据えて、「保育は愛なり 愛は力なり」という保育理念のもと、地域の子育てセンターとして、常に子どもや保護者の視点に立った、温もりのある保育実践を職員一同、精一杯行ってまいりました。

令和2年度4月にスタートした「保育所型認定こども園・第2 愛心こども園」移行の様々な諸準備を進めながらの1年になりましたが、おかげ様で各種の提出書類等の準備も職員で力を合わせながら整え、那覇市との丁寧な書類のやり取りも無事に終えることができ、新たなスタートを迎えております。

また、平成29年度に厚労省より示された「保育士のキャリアアップの仕組みの構築と処遇改善」については、各専門リーダーや分野別リーダーで確認しながら周知し、県内で開催されたキャリアパスの研修にも積極的に受講することができました。保育士のキャリアアップの仕組みがスタートし、やりがいを感じながら、安心して働き続ける職場づくりの構築を目指し、更に日頃から子ども達のより良い成長のために、保護者支援にも奮闘している職員が、高い使命感と希望をもって保育の道を進みながら、個々の努力が評価され、将来に希望が持てるよう新たなキャリアアップの仕組みが構築されつつあります。

次に、毎年リーダー職員を中心にまとめている保育実践研究（日保協主催）においては、30～31年度と2年間継続して取り組んだ、「絵本を通して育む心・感性～親子のコミュニケーションを深める」のテーマでの実践報告が研究奨励賞を頂くことができ、子ども達や保護者のため、そして職員自身のための学びや活動が、保育の専門性を高めていきたいという思いで取り組んだ2年間の成果として、結果を残せたことが励みになっております。

また、27年度から取り組みを行っている、“チューター制度”については、面談の時間確保や調整が課題となっているこれまでの内容を踏まえ、29年度半ば頃から「職員マネジメントリーダー」の役割を担う職員を置き、パートナー決定や時間調整等を行っております。保育士の確保がますます厳しくなっている現状の中、現在頑張っている職員が生き生きと意欲をもって保育にあたり、働きやすい職場づくりにも力を注いでいけるような取り組みのひとつとして、成果が得られたと思います。

そして、今年度も当園の特色である音体教育、漢字遊び、お習字、英語で遊ぼう、食育活動及び、毎月の行事等、子どもたちの保育に関することは、全職員が気持ちをそろえて日々取り組む中で、職員の子供達一人ひとりに対する対応も愛情を惜しみなく注ぎ、個々の自主性や個性を尊重したうえで、しっかりとした指導計画を立て保育を行ってまいりました。

更にその他、安全管理、環境整備、職員の処遇等（保育士等処遇改善補助金）についても事業計画通り進めることができましたことをありがたく思っております。

多様化する保育ニーズや現在進行中の新制度に対しては、情報の収集や研修会等を通して学んできましたが、各事業の内容や職員の処遇改善等については、今後も行政や各園と連携を取りながらの学びが必要だと感じております。

令和元年度も地域の子育てセンターとしての役割をしっかりと認識しながら、地域に根差した児童福祉施設としての使命を果たせるよう、職員一同福祉の心をもって、子どもたちとご家族のより一層の幸せを願って、日々努めてまいりました。

多くの皆様に支えられ、温かく見守っていただきながら、おかげ様で無事に令和元年度を終えることができましたことに、心より感謝申し上げ、事業実績報告と致します。

# 令和元年度 仲井真こども園事業実績報告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

## 事業の総括

開園 2 年目を迎えた仲井真こども園は、4 月 1 日時点での子どもの受け入れ人数が、4 歳児が 21 名、5 歳児が 70 名、合計 91 名でスタートしました。職員につきましては、園長の玉村隆をはじめ、保育教諭は新規採用 1 名を含む 11 名、事務長、保育支援員、用務員が各 1 名の合計 15 名の職員にて今年度の教育保育運営を実施しました。

2 年目ということもあり、少し落ち着いた雰囲気の中で新学期をスタートすることができました。4 月は、各クラス担任による、玄関先での家庭訪問を実施し各家庭の状況把握に努めました。5 月には、春の遠足で大型バスに乗って浦添大公園に行き、さまざまな遊具で思いっきり楽しんでできました。ところがあいにく途中から雨が降り出したので、早めに切り上げてこどもの園遊戯室にてゲームをしたりみんなでお弁当をいただきながら楽しく過ごしました。翌日には、仲井真小の 1 年生と合同で「親子交通安全教室」を実施し、小学校と連携し、親子で交通安全について学ぶことができました。また、6 月には子どもたちが楽しみにしている、「プール開き・水遊び」も行いました。園舎中庭にミニプールを設置し水あそびを楽しんだり、小学校のプールを借りて、広いプールに開放感を感じながら、水に慣れ親しむことができました。更に 9 月の小学校との合同運動会では、悪天候による 2 度の延期もありましたが広々とした運動場で大勢の観覧者が見守る中、かけっこリズムダンスを元気いっぱい披露することができました。また、生活発表会では小学校の体育館をお借りして、保護者は観覧席もゆったりした中で、子どもたちの発表を見守ることができ、「とてもよかった」とお褒めの言葉を頂きました。そして、3 月「修了式」にて 70 名の年長児が無事に卒園を迎えることができ、一人ひとりの成長の喜びを感じながら、令和最初の年度を締めくくることができました。

それから、給食の提供につきましても、那覇市の委託業者でもある給食センターによる異物混入の問題があったことから、当園の給食を 10 月より愛心保育園にて調理した給食及び第 2 愛心保育園で作ったおやつを提供しております。安心・安全でしかも温かくおいしい給食を子どもたちに提供できたことは、愛心保育園並びに第 2 愛心保育園の調理職員の皆さんの協力のおかげだと感謝しております。

そのように、開園 2 年目もベテラン、中堅、新人の職員それぞれが、自分の役割をしっかりと担い、工夫を凝らし努力しながら、お互いに協力し合えたことで乗り越えられたと思います。職員には深く感謝しつつ、子どもたち、保護者、職員がもっと笑顔になれるよう、また、地域の方たちとの交流も大切にしながら、今後とも努力を惜しまず事業運営に取り組んで参りたいと思います。

今年度、身近で支えて頂いた皆様に心より感謝を申し上げ、令和元年度の事業実績報告と致します。